

考古学研究室報告

第 39 集

I 高熊古墳第 1 次・第 2 次調査概要

II 河原第 3 遺跡 3

2003 年度 考古学研究室の足跡

2 0 0 4

熊本大学文学部考古学研究室

表紙写真：高熊古墳調査地風景（東から）
裏表紙写真：河原第3遺跡出土石器

序 文

発掘調査を行い、写真や図面、遺物を整理し報告書を作成する。これは考古学に携わるものにとってもっとも基本となる作業である。本書『考古学研究室報告』には、こうした作業を経験した学生の一年間の成長の跡が刻まれている。

わが熊本大学考古学研究室の教育研究活動の根幹は、本書の作成作業を通じて考古学調査・研究の意味を学んでいくことにあるが、現状において、それは大きく2つの問題をかかえているように思う。

1つは、『考古学研究室報告』で示される内容が、その年ごとの調査成果の域を大きく超えることがないという点だ。夏に発掘調査を行い冬に報告書を出版するというサイクルでは、また、毎年フィールドマスターや執筆者が変わるという現状では致し方ない面があるかもしれない。しかし、実習調査とはいえ、ある意味、遺跡破壊と同義の発掘調査を行っているのだから、少なくとも調査が数次にわたった場合には、「〇〇遺跡といえばコレ」というような総括報告書を作成しておく必要があると思う。考古学徒としてのわれわれ教員側の姿勢も問われることになると感じている。

2つは、作業の継続性が希薄であるという点だ。これは、学部4年生と大学院修士2年生が発掘などの作業から完全に解放されることと大いにかかわる。それまでの経験を生かしてもっとも実力を発揮できるはずの彼らが不在であることのマイナス面は大きい。将来も考古学を続けたいと考えている4年生には義務でなくても積極的に調査に参加する姿勢が求められることは当然であるが、われわれ教員の側にも実習調査の意味を常日頃から伝える努力が求められるし、それを怠ってはならない。

今回はじめて熊本県内の古墳を発掘しその概要報告書を発行するにあたり、自戒の念も込めて、以上を記した。

さて、本書には、熊本県植木町所在高熊古墳と同県西原村所在河原第3遺跡の調査成果を掲載している。

河原第3遺跡の調査は今年度でひととおりの現場作業が終了し、今後は総括報告書作成作業に入ることが予定されている。4次にわたる調査によって細石刃石器群ブロックの中心部がほぼ完掘されるという成果が得られたが、それがどのようにまとめられるのか、大いに期待される。

高熊古墳の調査は、2002年3月の墳丘測量によって開始され、2003年夏、メインの実習調査として実施された。熊本県地域における古墳動向の解明というテーマのもと、高熊古墳はもちろんこれ以外の本県所在古墳についても、今後継続して調査・研究を実施していきたいと考えている。熊本県地域の古墳動向についてまだまだ不勉強なところが多いので、関係各位からのご批判、ご指導をお願いしたいと思う。

2004年1月

杉井 健

I 高熊古墳第1次・第2次調査概要

例 言

- 本編は、熊本県鹿本郡植木町古閑天神平に所在する高熊古墳の測量・発掘調査の概要報告である。
- 調査期間は、測量調査が2002年3月1日から11日および2003年3月10日から13日までの計15日間、発掘調査が2003年8月8日から25日までの18日間である。
- 2002年3月および2003年3月の測量調査を第1次調査、2003年8月の発掘調査を第2次調査と呼称する。
- 調査は実習調査として熊本大学文学部考古学研究室が起案し、植木町教育委員会の協力を得て実施された。
- 調査主体は熊本大学文学部考古学研究室である。第1次調査には科学研究費補助金（基盤研究C2、研究代表者杉井健）の一部を使用した。
- 第1次調査のうち2002年実施の調査は杉井健（熊本大学文学部助教授）と竹中克繁（当時同文学研究科大学院生、現宮崎市教育委員会）が、第1次調査のうち2003年実施の調査と第2次調査は杉井と西嶋剛広（同文学研究科大学院生）が担当した。
- 本編におけるレベル高はすべて海拔を表し、方位は磁北を示す。報告書抄録に示した北緯と東経は世界測地系（国土地理院ホームページ地形図閲覧システム）によるものである。
- 調査および合宿生活の実施に当たっては、以下の方々からさまざまなご協力とご援助を賜った。
中原幹彦・木村龍生（植木町教育委員会）、高木博敏（植木町文化財保護委員）、平田房穂（古閑地区区長）、古田深（発掘調査地権者）、中島正人（宿舎の借用）、住野末行（駐車場の借用）、古閑地区住民の方々（敬称略）
- 形象埴輪について、高橋克壽氏（奈良文化財研究所）からご教示を賜った。
- 調査期間中、以下の方々が登場され、種々のご教示を下さった。
第1次調査：伊藤奎二、岸本圭（福岡県教育委員会）、古財誠也、高木正文（熊本県教育委員会）、橋本達也（鹿児島大学総合研究博物館）、林田和人（熊本市教育委員会）、松木武彦（岡山大学文学部）
第2次調査：荒木隆宏（玉名市教育委員会）、高木正文（熊本県教育委員会）、竹田宏司（玉名市教育委員会）、中村幸史郎（山鹿市教育委員会）、藤本貴仁（宇土市教育委員会）、前田平治（山鹿市教育委員会）、宮崎歩（山鹿市教育委員会）、宮崎敬士（熊本県教育委員会）、山口健剛（山鹿市教育委員会）（50音順、敬称略）
- 調査参加者は以下の通りである（所属は当時）。
第1次調査（2002年）：甲元真之・木下尚子・杉井健（以上教官）、新里亮人（文学研究科修士課程2年生）、緒方智子・木村龍生・竹中克繁（以上文学研究科修士課程1年生）、檀佳克（文学部4年生）、芝康次郎・西嶋剛広・松本周作・村田勉（以上文学部3年生）、仙波靖子・中里陽道・中田伸一・前田知聖・望月大輔・森幸一郎（以上文学部2年生）
第1次調査（2003年）：甲元真之・木下尚子・杉井健（以上教官）、木村龍生・竹中克繁（以上文学研究科修士課程2年生）、芝康次郎・西嶋剛広（以上文学部4年生）、斉藤伸太郎・八郷美美・麓晃・前田真由子（以上文学部2年生）
第2次調査（2003年）：甲元真之・木下尚子・杉井健（以上教官）、檀佳克（文学研究科修士課程2年生）、金姓旭・芝康次郎・西嶋剛広（以上文学研究科修士課程1年生）、巻岐尾可奈子・沖謙介・神川めぐみ・児玉幹・斉藤伸太郎・三宮慶太・末永浩平・高橋直人・八郷美美・前田真由子・松ヶ野恵・山下典子（以上文学部3年生）、島津屋寛・原香織・牧野幸子（以上文学部2年生）、竹中克繁（宮崎市教育委員会）
- 写真撮影については、第2次調査の現場写真を斉藤・八郷が、遺物写真を八郷・牧野がおもに担当した。
- 本編の編集は杉井の指導を受けて西嶋が担当した。執筆分担については目次に記す。

本文目次

一 調査経過	1
1. 位置と環境	沖 謙介… 1
2. 調査経過	杉井 健… 3
二 墳丘の構造	5
1. 墳丘の現状	児玉 幹… 5
2. トレンチの設定	西嶋 剛広… 5
3. 調査の所見	6
(1) 前方部第1トレンチ	西嶋 剛広… 6
(2) 前方部第2トレンチ	八郷 美美… 6
(3) クビレ部第1トレンチ	山下 典子… 6
4. 墳丘の形態	末永 浩平… 9
5. 古墳築造以前の溝と墳丘の構築	ク … 9
三 出土遺物	10
1. 遺物の概要	西嶋 剛広… 10
2. 古墳に伴う遺物	10
(1) 円筒埴輪	松ヶ野 恵… 10
(2) 形象埴輪	前田真由子… 10
(3) 須恵器	巻岐尾可奈子… 15
3. 古墳に伴わない遺物	15
(1) 古墳築造以前の溝出土土器	金姓旭・鳥津屋寛・牧野幸子… 15
(2) その他の出土土器	巻岐尾可奈子・三宮慶太… 16
四 まとめ	西嶋 剛広… 19

図版目次

図版 1

- 1 前方部第1トレンチ全景（南から）
- 2 前方部第2トレンチ全景（北から）
- 3 クビレ部第1トレンチ全景（北から）
- 4 前方部第1トレンチ周溝検出状況（北から）
- 5 クビレ部第1トレンチ古墳築造以前の溝（手前）および周溝（奥）検出状況（東から）

図版 2

- 1 前方部第1トレンチ西壁南半部土層断面（周溝と古墳築造以前の溝の切り合い関係）
- 2 前方部第2トレンチ西壁土層断面（周溝部分）
- 3 クビレ部第1トレンチ西壁北半部土層断面（周溝部分）

図版 3

円筒埴輪

図版 4

- 1 家形埴輪
- 2 人物埴輪
- 3 人物埴輪台部
- 4 不明形象埴輪

図版 5

- 1 須恵器器台（1）
- 2 須恵器器台（2）
- 3 須恵器甕
- 4 古墳築造以前の溝出土土器

図版 6

- 1 その他の出土土器（弥生土器・土師器）
- 2 その他の出土土器（弥生土器甕脚部）
- 3 その他の出土土器（縄文土器・陶磁器）

挿図目次

第1図	高熊古墳の位置（沖製図）	1
第2図	周辺の遺跡分布図（沖製図）	2
第3図	高熊古墳周辺の地形（沖製図）	3
第4図	墳丘および周辺地形測量図（児玉製図）	4
第5図	トレンチ配置図（西嶋製図）	5
第6図	トレンチ平面図・断面図（上：前方部第1トレンチ、中：前方部第2トレンチ、 下：クビレ部第1トレンチ）（西嶋・八郷・山下製図）	7～8
第7図	墳丘北側の墳端ライン想定図（末永製図）	9
第8図	円筒埴輪実測図（松ヶ野製図）	11
第9図	形象埴輪実測図（1）（前田製図）	13
第10図	形象埴輪実測図（2）（前田製図）	14
第11図	須恵器器台実測図（沓岐尾製図）	15
第12図	須恵器器台（八郷撮影）	15
第13図	古墳築造以前の溝出土土器実測図（島津屋製図）	16
第14図	縄文土器実測図（三宮製図）	16
第15図	その他の出土土器実測図（沓岐尾製図）	17

表目次

第1表	掲載出土遺物一覧表	18
-----	-----------	----